

授業者も参加者も創る!!高まる!!広げる!! 西部の国語の未来へバトンをつなぐ



令和元年10月発行
西部教育事務所

9月25日(水)に第2回国語科授業づくり講座「教材研究会」が大方中学校で開催されました。11月6日(水)に開催される「授業研究会」に向けて、説明文等の教材分析を参加者全員で行いました。その様子を紹介します。



西部管内の
講座関係のHP

【提案内容】中学校1年「筆者の考えを基に、人間の生活と生き物の環境との関係について考えたことを伝え合おう ～文章の内容や構造を把握し、根拠を明確にして自分の考えをまとめる～」 (教材名:「幻の魚は生きていた」)年光村図書

【提案者】 能津 利尚 教諭 (黒潮町立大方中学校)

「授業づくりの基盤は、深い内容の理解と目の前の子供の実態の把握に基づく教材分析である」(「新教育課程を活かす能力ベースの授業づくり」齊藤一弥・高知県教育委員会(編著)P16参照)ということから、今回大方中学校では、生徒の課題を踏まえた資質・能力ベースの授業づくりに向け、右に示した3つの教材分析の視点を中心に「教材研究会」が実施されました。

【教科の見方・考え方を働かせた授業づくりに向かう3つの視点】

What...現状での指導上の問題は何か。改善に必要な教材分析の内容が明確化
Why...なぜそれが問題となっているのか。
How...授業における指導の具体的な検討(単元づくりへ)

I 大方中からの提案

根拠を基に自分の考えを持つためには、自分の考えを述べるために何を根拠とすることがふさわしいのか、ということを考えることができないと判断がつかない。

自分の考えを形成する力を付けるために、学習過程の中で未定着である既習の学びをどのように補ってあげればよいか、ということを検討していく必要がある。

○単元で付けたい力
《読むこと(オ) 考えの形成》

What

【説明文の読解力に課題】

- 「文章の展開に即して内容をとらえることや文章構成を捉えること」に弱さ
→読み取ったことを根拠に自分の考えを持つ(まとめ)たり深めたりすることに課題
- ・文章の構成や内容を捉えさせる指導

Why

- 小学校や中学校で学習済みだが未定着である。
- 既習の内容の未定着を授業の中でどのように補ってあげればよいか。

How(1)

II 教材分析

【教材の深い理解を目指した授業づくりの3つのStep】

- ① 教材理解するための文章構成図
- ② 構成と内容を把握するための小見出し
- ③ ①②を踏まえた単元づくり

○グループで協議

- ・大方中学校提案の教材文について文章構成図を作成
- ・作成した文章構成図を基に構成・内容等について協議
- ※教材を深く理解するために、個で考えた構成図を基にして協議

○共有

松永立志先生の助言より

【文章構成図はツール】

(教師)・・・教材を分析、研究するためのツール
(子供)・・・説明文の内容理解(要旨をまとめる等)のためのツール
【活用例】序論(話題提示等)と結論を骨格にして、並べた小見出しを使いながら肉付けする。その上で主語、述語の関係を整理短文で要旨をまとめる等。

講師 松永立志先生
前鎌倉女子大学教授

*それぞれの領域やジャンルによって使うツールは違う。適切な選択が大事

【思考力・判断力・表現力の育成に向けて】

- ・1問1答の授業から抜け出し、思考力・判断力・表現力を身に付けさせるためのツール活用
→子供が自ら発言したり書いたり等の表現をするための拠りどころにする。
- ・教師が、子供に身に付けさせたい力を付けるための教材研究
→言葉や構成、文章読解に関する技術など、身に付けさせたい力の指導方法を整理する。

【考えを深めるための単元づくり】

- ・子供の考えをどうやって深めさせるかや、どうやって深まったのかを判断するためには適切な(理解したことを発信する、表現する)言語活動は何か、を考えることが必要である。
- ・教科書にあるから「読む」ではなく、相手や目的を意識した言語活動を仕組み、そのうえで、情報を取り出したり活用したりする等の「単元づくり」が大切である。

How(2)

III 「授業研究会」に向けて ～単元の検討～

【大方中の単元構想を基に言語活動と指導計画を各校で検討及び実践！】

→読むこと(オ)の考えの形成の力を付けるための言語活動や文章構成図の効果的な活用を踏まえた指導計画とは！
※具体的な言語活動及び指導計画を検討、実践し、次回の「授業研究会」での協議の柱とする。

～参加者より～

- ☆構成図の作成のポイントや小学校段階からどのように定着させていけば良いかが分かりました。(小学校教諭)
- ☆小学校から系統を意識し、小学校の学びを発展させられるような活動を取り入れていきたい。(小学校教諭)
- ☆「国語はとにかく本文を読むしかない」と生徒に言い聞かせながら何の手立てもなく進めてきましたが、単元づくりのために、教材分析をしっかりやるのが大事だと感じました。(中学校教諭)

第2回【授業研究会】 11月6日(水)

今回の教材研究会を参考に、上記「Ⅲ単元の検討」等について協議したいと思っています。沢山のご参加をお待ちしています。

